

令和7年度

朝霞市ふれあい推進事業

第3回推進委員会

令和8年2月10日（火）午後4時から

朝霞市民会館 梅会議室

朝霞市教育委員会

令和7年度朝霞市ふれあい推進事業第3回推進委員会

資料

令和7年度朝霞市ふれあい推進事業推進委員会名簿・・・・・・・・ P 2

令和7年度朝霞市ふれあい推進事業 決算・・・・・・・・ P 3

実施報告書

- ① 第一中学校区における事業について・・・・・・・・ P 4
- ② 第二中学校区における事業について・・・・・・・・ P 5
- ③ 第三中学校区における事業について・・・・・・・・ P 10
- ④ 第四中学校区における事業について・・・・・・・・ P 12
- ⑤ 第五中学校区における事業について・・・・・・・・ P 14

令和7年度朝霞市ふれあい推進事業推進委員会名簿（敬称略）

	所属団体	役職名	氏名	備考（◎委員長 ○副委員長）
1	自治会連合会	会長	松尾 哲	◎委員長
4	文化協会	会長	平塚 誠	
5	スポーツ協会	会長	石原 茂	
6	レクリエーション協会	理事	栗原 清年	
7	青少年育成市民会議	会長	渡邊 俊夫	○副委員長
8	スポーツ少年団	本部長	松井 弘	
9	西部地区民生委員児童委員協議会	副会長	坂本 知里	
10	商工会	理事	柏谷 智大	
11	東洋大学	教授	鳴海 一成	
12	社会福祉協議会	常務理事	渡辺 淳史	
13	青少年相談員協議会	書記	富樫 瞭詠	
14	保護司会朝霞支部	副支部長	大畑 茂	
15	朝霞警察署	生活安全課長代理	根上 敦全	
16	県立朝霞高等学校	校長	伊藤 孝人	
17	県立朝霞西高等学校	校長	佐藤 成美	
18	朝霞第一中学校区実行委員会	委員長	江藤 さつき	朝霞第四小学校 よつばの会 代表
19	朝霞第二中学校区実行委員会	委員長	西 明	朝霞七小学校 父母と先生の会 会長
20	朝霞第三中学校区実行委員会	委員長	羽石 明博	朝霞第五小学校 PTA会長
21	朝霞第四中学校区実行委員会	委員長	山田 かをり	朝霞第四中学校 父母と先生の会 会長
22	朝霞第五中学校区実行委員会	委員長	田中 朱美	朝霞第三小学校 PTA会長
23	朝霞第一中学校区事務局	事務局長	原口 憲充	朝霞第四小学校長
24	朝霞第二中学校区事務局	事務局長	田中 誠	朝霞第七小学校長
25	朝霞第三中学校区事務局	事務局長	田邊 雅也	朝霞第五小学校長
26	朝霞第四中学校区事務局	事務局長	太田 禎治	朝霞第四中学校長
27	朝霞第五中学校区事務局	事務局長	松本 欣巳	朝霞第三小学校長

事務局（朝霞市教育委員会等）

1	生涯学習部長	奥山 雄三郎	事務局長
2	学校教育部長	福士 昌三	
3	こども・健康部こども未来課長	高橋 賢一郎	
4	生涯学習部次長兼生涯学習・スポーツ課長	堀川 政昭	
5	学校教育部教育指導課長	手島 牧子	
6	生涯学習部生涯学習・スポーツ課係長	荒井 誠	
7	学校教育部教育指導課指導主事	三宅 太陽	

令和7年度 朝霞市ふれあい推進事業 決算（補助金25万円分）

	一中校区	二中校区	三中校区	四中校区	五中校区	合計
報償費 (講師謝金等)	150,000	0	0	15,000	187,770	352,770
旅費	0	0	0	0	11,288	11,288
需用費 (消耗品費、印刷費等)	8,550	168,200	220,000	216,920	42,862	656,532
役務費 (郵便、保険料)	0	81,800	30,000	18,080	8,080	137,960
使用料・賃借料	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
合計	158,550	250,000	250,000	250,000	250,000	1,158,550

実施報告書

(1枚目/全1枚中)

- 1 中学校区 朝霞第一中学校区
2 実行委員長 氏名：江藤 さつき
3 事務局 朝霞市立朝霞第第四小学校
4 取組の名称 ～朝霞一中学校区～ ふれあいまつり
5 実施日(期間) 令和7年11月8日(土)

6 実施場所 朝霞市立第一中学校敷地内

7 取組の概要 ※記録写真(デジタルカメラのデータでも可)を添付願います

(1) 2012年ロンドン五輪出場・JALアスリート社員 土井 杏南 氏による講演

(2) みんなでかけっこ 参加者による校庭でのかけっこ(体験)

8 成果と課題

(成果)

土井杏南選手の講演会に多くの参加者が感銘を受けた。

朝霞第一中学校出身でオリンピックにも出場した土井選手に直接触れ合うことができた。

私たちにとっては「土井先輩」が今も常に目標に向けて現実的・建設的に取り組まれていること、子供たちにあたたく接して下さったことで、参加者にとって励みになる

取組となった。参加者の多くは中学生で、生徒・保護者・地域の方々の学校間交流ができた。

終了後の小中学生の素直な反応からも、影響の大きさがわかる。

(課題)

参加予定人数を大幅に下回る結果となってしまった。講師として招くにあたっては、

期日設定の調整に時間を要する。また、他の地域行事と重なり、参加できなかったことが

大きく影響した。

9 参加総人数 合計 146名 (①+②)

①一般参加者 (一般小計 146名)

(内訳) 小学生 18名、中学生 71名、高校生 9名、その他 39名

②役員 (役員小計 30名)

(内訳) 学校関係者 12名、PTA等関係者 8名、地域代表者等 2

4名、民生委員児童委員代表者 1名、教育委員会 3名、

その他(議員) 0名

※ 事業の内容が複数ある場合は、内容毎に実施報告書を作成すること。

様式第7号

実施報告書

(1 枚目/全5枚中)

- | | |
|-----------|-----------------------------|
| 1 中学校区 | 朝霞第 <u>二</u> 中学校区 |
| 2 実行委員長 | 氏名： <u>西 明</u> |
| 3 事務局 | 朝霞市立朝霞第 <u>七</u> 小 学校 |
| 4 取組の名称 | <u>朝霞第二中学校区 ふれあいフェスティバル</u> |
| 5 実施日(期間) | <u>令和 8 年 1 月 17 日(土)</u> |
| 6 実施場所 | <u>朝霞第七小学校 体育館・校舎1階</u> |
| 7 取組の概要 | ※記録写真(デジカメのデータでも可)を添付願います |

(1) 地域の各種団体が日々の成果を発表する場

- ① 二中吹奏楽部 演奏
- ② 二中「双葉」鳴子演舞(総踊りあり)
- ③ 7小 有志ダンス

(2) 模擬店出店

- ① 2小：ワッフル配布・ニンジン詰め放題
- ② 7小：餅つき体験・つきたてお餅の配布
- ③ 9小：的あて(ストラックアウト)
- ④ 2中：射的
- ⑤ 感謝プロジェクト(地域団体)：牛乳パック竹とんぼ

8 成果と課題

(1) 成果

- ① 昨年度は雨天中止となり、準備が無に帰して悔しい思いをした。その反省から、本年度は、雨天決行とするため、会場を二中から七小に変更し、模擬店を屋内で実施することとして、実施の確実性を高めた。当日は天候に恵まれ、多数の来場者を迎えることができた。
- ② 体育館における公演を2部制とし、各団体に2回ずつ公演してもらうことで、多くの来場者に観賞してもらうことができた。殊に、2中吹奏楽部は、第1部と第2部で違う曲を演奏したため、合計4曲を聴くことができた。
- ③ 2中「双葉」の鳴子演舞に引き続いて、興奮冷めやらぬうちに「総踊り」を実施した。多数の飛び入り参加者が鳴子を持って踊り、一体感を醸成することができた。鳴子踊りの楽しさを周知できた。
- ④ 7小有志ダンスにより、学年を超えた交流が生まれた。
- ⑤ 昨今の物価高騰により予算を超過した団体があったが、7小おやじの会が毎年実施しているお餅つきをふれあいフェスティバルに取り込むことにより、お餅つきの予算を減らすことができたため、予算超過を免れることができた。

(2 枚目/全5枚中)

⑥ 各模擬店も盛況で、地域で子どもを育てる意識を醸成することができた。

(2) 課題

- ① 実行委員会の負担が極めて重い。年4回の会議はもとより、様々な準備のために、平日昼間に度々集まる必要があり、さらに、PTA 役員の業務もある。しかし、実行委員は、みな仕事を持っており、頻繁に休むことはできない。そのため、活動できる実行委員がごく少数に限定されてしまい、その負担が過大となった。正月返上で準備せざるを得なかった。それでも、準備不足や各団体との連携不足に陥った。
- ② 会場を七小に変更したため、昨年まで実施してきた2中の部活動見学、2小の鳴子演舞、9小のダンスを実施できなかった。その原因は、二中校区は和光市の境から志木市の境まで広域であるため、子どもたちに遠方の七小まで移動を強いることができないことによる（特に雨天時）。
- ③ 町内会の模擬店は、昨年度は1に減り、今年度は0となった（今年度、町内会は後方支援としての参加にとどまった）。また、民生委員・児童委員やカインズも不参加となった。地域のイベントとしての性格が希薄化している。
- ④ 11月に実施したかったが、参加各校の日程調整がつかず、1月にずれ込んだ。時期的に、学級閉鎖の不安があった。また、受験生が参加できなかった。
- ⑤ 物価高騰により、予算不足を感じた。
- ⑥ 二中校区では、2小・7小・9小が、持ち回りで幹事校を担当している。そして、各校のPTA 役員の多くは、毎年入れ替わる。そのため、ノウハウの引継ぎが困難である。その結果、実行委員は手探りで準備せざるを得ず、苦勞した。その苦勞の甲斐なく、当日は、参加団体、児童生徒や来客、さらには学校にも迷惑をかけたか、混乱が生じた。
- ⑦ 上記のとおり、二中校区に特有の困難要因がある。しかし、他の校区と足並みをそろえるため、あるいは、市から補助金が出るため、「やらざるを得ない」という重圧を感じた。次の幹事校のPTA 役員等に同様の負担を強いることは残酷だと思う。

9 参加総人数 合計 746 名 (①+②)

①一般参加者 (一般小計 633 名)

(内訳) 小学生 299 名、中学生 64 名、高校生 0 名、その他 270名

②役 員 (役員小計 113 名)

(内訳) 学校関係者 13 名、PTA 等関係者 88 名、地域代表者等 7 名、
民生委員児童委員代表者 1 名、教育委員会 4 名、
その他 0 名

※ 事業の内容が複数ある場合は、内容毎に実施報告書を作成すること。



2中 吹奏楽部



7小 有志ダンス



2中「双葉」鳴子演舞



総踊り



朝霞第二小学校 PTA

ニンジン詰め放題



朝霞第二小学校 PTA

ワッフル配布



朝霞第七小学校 おやじの会

餅つき体験、お餅の配布



朝霞第九小学校 学校保護者連絡会

的あて (ストラックアウト)

	<p>朝霞第二中学校 保護者と教師の会</p>
	<p>射的</p>
	<p>感謝プロジェクト</p>
	<p>牛乳パック竹とんぼ</p>
	<p>感謝プロジェクト</p>
	<p>牛乳パック竹とんぼ</p>
<p>余白</p>	

様式第7号

実施報告書

(1枚目/全2枚中)

- 1 中学校区 朝霞第三中学校区
- 2 実行委員長 氏名：羽石 明博
- 3 事務局 朝霞市立朝霞第五小学校
- 4 取組の名称 あいさつ運動推進キャンペーン
- 5 実施日(期間) 令和7年11月 8日(土)

- 6 実施場所 朝霞市立朝霞第三中学校体育館
- 7 取組の概要 ※記録写真(デジタルカメラのデータでも可)を添付願います
 - あいさつ運動看板製作 50枚
 - ステージ発表
 - ・朝霞第五小学校 けやきっ子(鳴子演舞)
 - ・朝霞第十小学校 うたの輪合唱団(合唱)
 - ・朝霞第三中学校 みつばち(鳴子演舞)
 - ・朝霞第三中学校 吹奏楽団(演奏)
 - 朝霞第三中学校制服リサイクル

写真



8 成果と課題

(成果)

本年の主旨であった『原点回帰』に基づき、子供たちや地域の方々と51枚の多くのあいさつ看板を作成する事が出来ました。また各校のステージ発表も素晴らしかったです。

(課題)

新規で看板を貼る場所の情報が無いため、学校廻りや公園等に看板が集中している。今後は、地域の方々の協力で看板の貼り付け場所の情報提供が必要です。また毎年参加人数が減少しているので歯止めをかける仕組みが必要と考えます。

9 参加総人数 合計 466名 (①+②)

① 一般参加者 (一般小計 325名)

(内訳) 小学生 162名、中学生 80名、高校生 0名、その他 83名

② 役員 (役員小計 141名)

(内訳) 学校関係者 10名、PTA等関係者 100名、地域代表者等 11名、
民生委員児童委員代表者 15名、教育委員会 5名、
その他 0名

※ 事業の内容が複数ある場合は、内容毎に実施報告書を作成すること。

実施報告書

(1枚目/全2枚中)

- 1 中学校区 朝霞第四中学校区
2 実行委員長 氏名：山田かをり
3 事務局 朝霞市立朝霞第四中学校
4 取組の名称 ふれあいまつり
5 実施日(期間) 令和 7年 10月 25日(土)

- 6 実施場所 朝霞第四中学校・朝霞第八小学校

- 7 取組の概要 ※記録写真(デジタルカメラでも可)を添付願います

朝霞第四中学校、朝霞第八小学校を会場として第14回ふれあいまつりを開催した。

両校、同日開催とし当日は雨だったことから主に体育館にて実施した。学校・生徒・保護者・町内会・近隣の高校が一体となり「焼きそば」「フランクフルト」「おにぎり」などの飲食品を取り扱う模擬店および部活動を通して作成した作品の販売を行う模擬店の出店や、プログラミング体験ブースやものづくり体験、各種制作物の展示をおこなった。

また、近隣の高校による吹奏楽部や軽音楽部、ダンスなどの発表、朝霞四中鳴子「櫂」および市内のよさこい団体「栄華」「め組」による演武、空手演武やそのほか有志によるステージ発表を実施し、盛況となった。

- 8 成果と課題

今年はいいにくの天気となったが、参加した生徒・児童・保護者、学校・町内会・近隣の高校が相互的に協力し合い笑顔溢れる「ふれあいまつり」だった。

また、より安全に楽しめるおまつりになるように力を合わせ意見交換等をする事で当日だけではなく運営内で学校・家庭・地域が協力して子どもを見守っていく協力体制の促進につながった。

今後は参加者増加と共に天候に左右されないように店舗配置を検討し、起こりうる危険を取り除いてより安全に対する対策を強化していけるように検討していきたい。

- 9 参加総人数 合計 2982名(①+②)

- ① 一般参加者(一般小計 2861名)

(内訳)小学生1134名、中学生230名、高校生60名、その他1437名

- ② 役員(役員小計 121名)

(内訳)学校関係者5名、PTA等関係者80名、地域代表者等30名、
民生委員児童委員代表者2名、教育委員会2名、その他2名

※ 事業の内容が複数ある場合は、内容毎に実施報告書を作成すること。

実施報告書

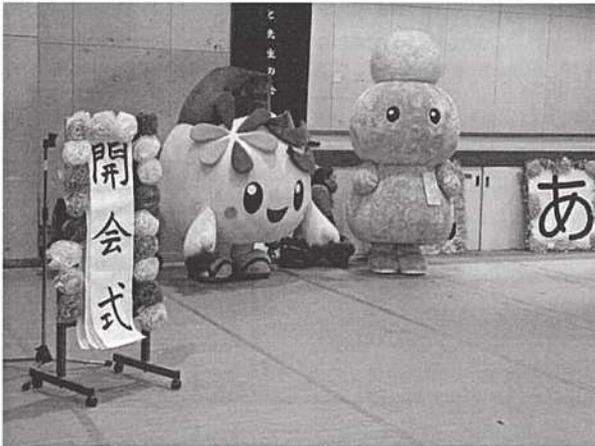
(2 枚目 / 全 2 枚中)



館内 (ステージと観客席)



ステージ演武 (四中鳴子「櫻」)



開会式 (ぼぼたんと彩夏ちゃん)



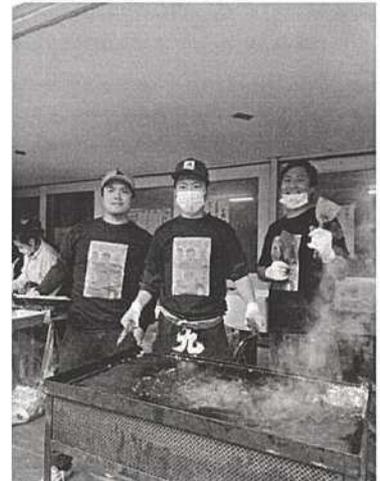
館内 (参加した生徒たち)



館内 (美術部展示)



館内 (接客の様子)



町内会 (焼きそば販売)

実施報告書

(1 枚目 / 全 1 枚中)

- 1 中学校区 朝霞第五中学校区
- 2 実行委員長 氏名： 田中 朱美
- 3 事務局 朝霞市立朝霞第三小学校
- 4 取組の名称 朝霞第五中学校区ふれあいまつり “fun!fun!fun!”たのしいこといっぱい!
- 5 実施日(期間) 令和7年11月8日(土)
- 6 実施場所 朝霞市立朝霞第三小学校(校舎・校庭・体育館)
- 7 取組の概要 ※記録写真(デジカメのデータでも可)を添付願います
令和7年11月8日(土)、“**fun!fun!fun!20 楽しいこといっぱい!!**”をキャッチフレーズに朝霞第五中学校区のふれあい推進事業である第20回「ふれあいまつり」を開催した。
=地域交流イベント=
 - ・皿回し、けん玉・ぶんぶんゴマ・ベーゴマ、めんこ・輪投げ・ふれあい動物園
 - ・今川焼・焼きそば、ラムネ販売・団子販売・セブンイレブン出店
 - ・特別支援学級手作り品販売・五中吹奏楽演奏
- 8 成果と課題
 - 協力団体も多く工夫しながら開催できた。多くの来場者で賑い、充実したまつりとなった。
 - 第五中学校と第三小学校の特別支援学級の児童生徒が交流し、協力してお店を出店することができ、体験活動として有意義なものとなった。五中吹奏楽部の演奏も多くの方に聴いていただき、小・中連携の良い機会ともなっている。
 - 晴天に恵まれ多くの来校者のため、飲食物が売り切れてしまった。今後、まつりの運営の仕方も含め改善していけるようにしたい。
- 9 参加総人数 合計 1,787 名 (①+②)
 - ① 一般参加者 (一般小計 1,619 名)
(内訳) 小学生 806 名、中学生 55 名、小学校保護者 698 名、
その他 60 名
 - ② 役員 (役員小計 168 名)
(内訳) 学校関係者 35 名、PTA等関係者 26 名、地域代表者等 100 名、
民生委員児童委員代表者 2 名、教育委員会等 5 名

※ 事業の内容が複数ある場合は、内容毎に実施報告書を作成すること。